

登山時報

2022年7月15日発行(毎月15日発行)
1987年3月23日第三種郵便物承認
ISSN 1880-4993

8

地元・めっこ山岳会が紹介する 白山5編

2022 No.570

国際山岳連盟 (UIAA) の 待望の日本語訳! 登山技術スタンダード

ISBN978-4-044014-18-7
C2479 W2000E

9784944014187

192247502002



このハンドブックは、自らのスキルと知識を深めて活動領域を拡大したいと考えるハイカー・クライマー、登山者のためのものである。もとより国際山岳連盟傘下の山岳連盟・山岳会の指導者やリーダー候補生のための参考書として編纂された本書は、またして夏季の花巻に焦点を絞り、基礎知識、アルパインハイキング、クライミング、アルピニズムの各面からなっている。このハンドブックは、旅行の安全性が確保された技術を提供することを目的としている。こうした技術は資格を持つ講師の開催する正式な講習によってのみ提供され保につけられるべきである。

国際山岳連盟 日本山岳スポーツクライミング協会 創立60周年記念事業出版




総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン



夏季 アルパイン

UIAA

登山教育を優先しよう

登山の世界の門戸を押し広げようとしているみなさんが、すぐさま必要に迫られるようになり、いかにできることを確信して望んでいます。みなさんが先を歩かばらしい目標を駆け抜けていくことを祈ります。

ペトル財団会長 ポール・ペトル

創立 **60** 周年
1960-2020

**日本勤労者山岳連盟
記念出版**

代金は2,200円×冊数(税・送料込み)になります。
下記の口座に振込みをお願いします。

振込先(郵便振替口座)
00160-1-152812 日本勤労者山岳連盟中央登山学校

※銀行ATMから振り込むときは
銀行名=ゆうちょ銀行 支店名=〇一九(ゼロイチキョウ)
預金種目=当座預金 口座番号=0152812
口座名義=ニホンキンロウシャサンガクレンメイチュウオウトザンガッコウ

※振込日とお届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号などをメールまたはFAXなどでお知らせください。確認できしだい約一週間内にお届けします。

日本勤労者山岳連盟・事務局

TEL03-3260-6331 FAX03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp
フリーダイヤル0120-44-2742(平日10~18時)
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

国際山岳連盟が登山の世界スタンダードとして発行している技術書が日本語に翻訳されました。発行元は(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は労山国際部長・大和田英子理事です。ぜひ労山会員に広く普及してください。



チベット・ラサ市達孜区、標高 5020m

中国の青いケシ 探訪記

—チベット編⑥—

写真・文 松永秀和



メコノプシス・チベチカ

チベット・シガツェ市定日県、標高 4660m

外国人が自由に行動することが許されていないチベットでも比較的自由に動けるトレッキングルートが何か所がある。2017年にチベットを訪れたとき、2つのトレッキングコースを歩いた。

ひとつはラサ郊外の甘丹寺から桑耶寺までの約55kmを5日間で歩くコースで、途中で5300mの峠を2つ越える。1日目にラサエンシスを見、2日目、マーマットが住む岩石崩落地付近でスルフレアの亜種、グラキリフォリアと出会った。3日目の朝、目覚めると一面の雪。ガイドがこれ以上進めないというので引き返すことに。帰路、前日見た花を探したが、見つけることができなかった。

もうひとつはアルン川上流部からカルタ谷・シャウ湖を経て、カンシユン谷に入る周遊路だ。エベレストやマカルーを間近に望めるコースとして人気がある。2000年、このコースを歩いた日本のエーデルワイスクラブの隊員たちはエンジ色の花に目を留めた。その5年後、この花は英国の調査隊によってメコノプシス・チベチカとして新種記載された。特徴は果実の先端がディスク状になる。

次回からネパールの青いケシを紹介します。



雲湧くカムイエクウチカウシ山

四季の山岳撮影紀行

第4回 原始の色濃いカムイエクウチカウシ山

写真・文 宮本宏明

日高にしか咲かない花、カムイビランジを探したいというT氏に誘われ、日高山脈のカムイエクウチカウシ山（以下、カムエク）へ行くことになった。カムエクにはこれまで2回登ったことがある。整備された登山道はなく、ヒグマの気配が濃い自然度の高さが魅力だ。

8月初旬、1週間前にフェリーで北海道入りしていたT氏と千歳空港で合流。曇り空の下、日高、浦河経由で中札内を目指す。途中で山の食料と今日の昼食の弁当を買ひ、災害で当時不通になっていた日高本線の厚賀駅（注）の待合室で昼食を食べた。浦河からの天馬街道は深い霧に包まれていた。忠類の十勝ナウマン温泉に立ち寄ってさっぱりしてから、日高山脈山岳センターのキャンプ場へ。

山岳センターで山の情報収集をしてからテントを張る。広々とした気持ちのよいキャンプ場だ。入山祝いの乾杯をして、楽

しく夜が更けていった。

夜中にトイレに行ったらテントの場所がわからなくなるほどの濃い霧だったが、夜が明けると次第に雲が切れて青空が広がってきた。手早く朝食を済ませ、テントを撤収し、車で登山口の札内川ヒュッテ前のゲートへ向かう。

歩き出す頃にはすっかり晴れ上がった。トンネルを二つ抜けた所で舗装道路は終わり、砂利の林道になる。日差しが強いが、木陰が多いので助かる。エゾハルゼミの音が賑やかだ。建設が凍結された日高横断道路の残骸の橋梁など、異様に立派な建造物が時折現れる。2ピッチで林道の終点、七ノ沢出合に到着。ここで沢靴に履き換え、札内川の中を遡る。水量は少なく徒渉は全く問題ない。何度も渡り返し、森の中の踏み跡を拾いながら順調に進み、八ノ沢に少し入った所に幕営地があった。先客のテントが4張りほど。

まだ昼過ぎだが我々もここでテントを張り、午後は釣りをして遊ぶ。夕方になって曇ってしまったが、風のない静かな夜になった。焚火に当たりながら飲む焼酎がうまい。

入山二日目は4時半に起床。

朝食を食べて準備をしているうちに雨が降り始めた。天気予報によれば雨は朝のうちのことなので、予定通り出発することにする。

八ノ沢を登ってゆくと、正面に雨に煙るカムエクが姿を現した。時々左岸の踏み跡に入るが、



三股に咲くウコンウツギ

ほぼ沢の中を歩く。やがて雪渓を見るようになった。三股まで来ると崩壊した雪渓が大迫力だ。ウコンウツギの花が沢山咲いていた。一旦右岸へ渡り、崩壊した雪渓の上流で左岸に渡り返す。ツルツルのスラブを登って、中央の滝の右側につけられた急な上りに取りかかった。笹と灌木が被さりザックが引つかかるのが鬱陶しい。ルートは支沢を登っては左へトラバースというパ

ターンを繰り返しながら、本流から離れないように高度を上げてゆく。数カ所、外傾した岩場をロープを頼りにトラバースする部分があり、ザックが重たいので少々怖い思いをした。いつしか天気が回復し、日が差してきた。最後は本流沿いの急登となり、水が湧き出す源流を過ぎるとカールに飛び出した。水音がなくなると本当に静かだ。念のため周囲を見渡したが、熊の姿は見えない。平坦な道を数分進み幕営地に到着。早速テントを張ったが、ふと気がつくときぐ脇に古い熊の糞が落ちていた。岩の上に濡れものを広げて乾かしながら昼食を食べ、一息ついたところで今回の第一の目的であるカムイピランジを探しに出掛ける。咲いていると思われる所を3時間ほど探したが、花期が終わってしまったのか、数少なく目に留まらなかったのか、見つけることは出来なかった。T氏はとても残念そうだ。テントに戻ると手と服がハイ



八ノ沢カールの朝



遠くにヒグマの姿が

マツのヤニだらけになっていた。テントをより平坦で熊の糞が無い快適な場所に移し、残り少ない焼酎で乾杯した。

翌日は明るくなつてから目が覚めた。テントのジッパーを開けると一番美しい時間帯だった。T氏を起こしてカメラを持ってテントを出る。下の谷間に雲海が広がり、上空の雲が美しく色づいていた。太陽が昇るとカールがオレンジ色に色づき、素晴

らしい朝となった。熊が居ないかとカールに目をこらしたところ、一面の緑の中に黒い点もぞもぞと動いておりびっくり。上方へ移動しながら食事中的のうだ。ここからは十分な距離があるので危険を感じることは無く、しばらく観察するうちに窪地に姿を消した。

朝食を食べてからカムエクスピストンする。稜線の道は所々でハイマツが被り、右の八ノ沢カール側は絶壁になっている。山頂の少し手前にトカチフウロとエゾツツジが咲くお花畑が広がっていた。

山頂では日高の山々が一望の下。何となく見当がついたのは幌尻岳と1839m峰（標高1842m!）くらいで、ほとんどが自分にとつては未知の山々だ。山をじっくり味わいながら入山3日目に登り着いた頂上は、感慨深いものがあった。いつまでも長居したい気持ちだが、今日中に札内川まで下るため、記念写真を撮って山頂を後

にした。

鋭く尖ったピラミッドを正面に鞍部へ戻る。途中で八ノ沢出合から日帰りピストンという単独の登山者とすれ違った。鞍部

からカールへの下り口を間違え古い道？に入ってしまったが、獣道だったようだ。至る所に熊の掘り返しと糞があるのに驚き、Uターンして稜線に登り返す。

ほんの少し先に正しい下り口があった。

テントに戻り撤収したが、二人とも脱水気味でふらふらの状態。とりあえず水場へ移動し、たっぷり水分を

補給してから昼食にした。体調が落ち着いたところで三股への悪場を慎重に下る。疲れた体にはやや重すぎるザックで緊張したが、要所にはロープが設置されており、持参したロープを使わずに下ることができた。三股でほっと一息ついたが、八ノ沢出合までがとてもしんどく感じられた。

日没前に八ノ沢出合に着き、すぐにテントを設営。食事を始められたのはすっかり暗くなつてからだったが、明日は札内川を下るだけなので、遅くまでT

氏と語り合った。

最終日、すっかり明るくなつてから起きた。今日も晴天。時に余裕があるので、午前中に釣りをしてから下ろうという話になった。朝食を食べ、テントを撤収してから、釣り道具だけを持って八ノ沢へ。小さな型はリリースしながら2時間ほど釣りを楽しみ、二人で6尾を釣り上げた。

幕営地を後に、札内川をジャブジャブと下る。雨の日は増水が恐ろしい川だが今日は水量が少なく、どこを歩こうと自由自

在だ。途中で1回休憩を入れ、2時間ほどで七ノ沢出合の林道に着いた。靴を履きかえ、あとはゲートまでのんびりと林道を歩いた。

車に荷物を放り込み、幕別温泉で4日分の汗を洗い流し、ようやく人心地がついた。上士幌航空公園キャンプ場で、充実した山行の打ち上げとなった。



トカチフウ口咲くカムイエクウチカウシ山



カムエク山頂から南方の眺め



ピラミッドを見ながらカールへ下る

縦走、沢登り、山スキーの 絶好のフィールド

白山

2702M

地元 めっこ山岳会が紹介する



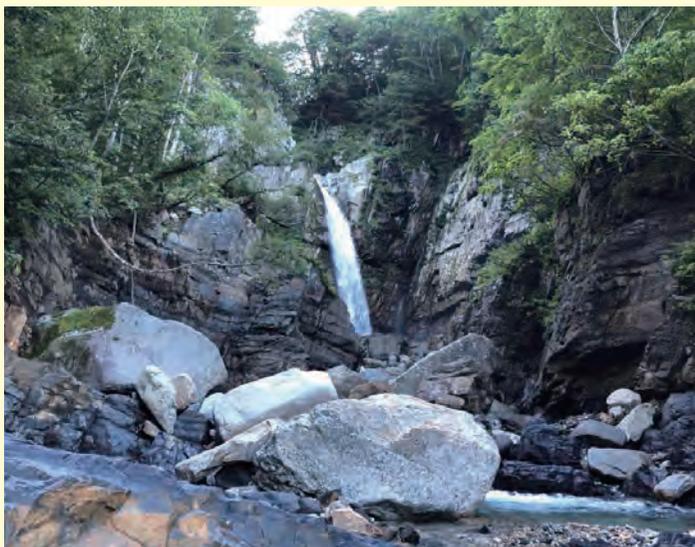
コバイケイソウとアサギマダラ



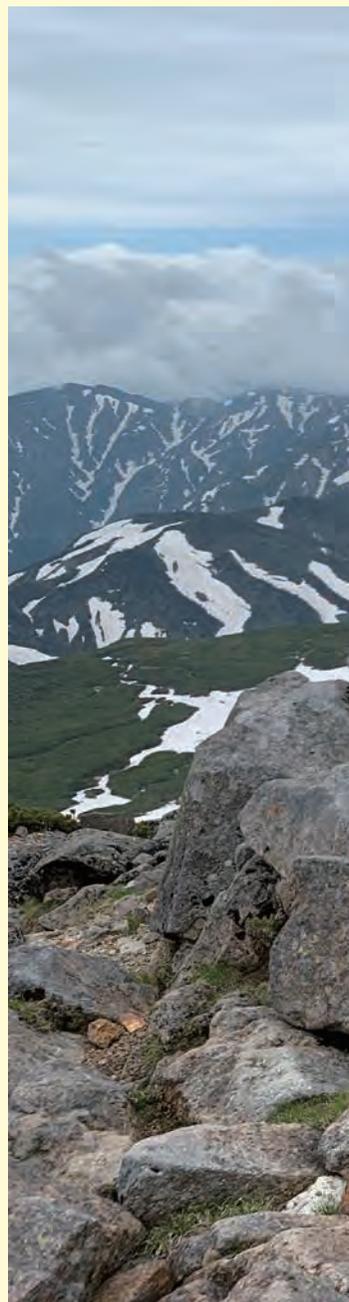
シナノキンバイ



白山の代名詞 クロユリ



めっこ
目附谷紅滝



頂上から別山を望む



白山とシュカブラ



目附谷ゴリラ岩

白山は、石川、富山、岐阜、福井の4県にまたがる両白山地の主峰である。富士山、立山と並び日本三霊山の一つであり、ハクサンイチゲ、ハクサンコザクラなど、多くの花の名前にその名前が冠せられることからわかるように、花が美しいことでも有名な山である。

しかし、関東圏からのアクセスの悪さから、登山者の数は有名な割にはアルプスから比べれば少なく、自然がよく保たれている山でもある。

私たちめっこ山岳会は石川県にあり、長年にわたり地元である白山をフィールドとして活動し、数々のルートに足跡を残してきた。

活動は多岐に及ぶことから、無雪期縦走、沢登り、積雪期について、それぞれの分野に分けて紹介したい。(12ページへ続く)

原田勇成の

白神便り

| 第60回 |

ナツエビネ



夏の盛りである8月は静かな季節だと思う。7月初旬にはうるさかったエゾハルゼミの合唱が消え（ヒグラシなどは鳴いているが）、野鳥たちの繁殖シーズンもほぼ終わっているため、さえずりもほとんど聞こえなくなる。さらには、沢の水量も落ち着き、せせらぎもあちこちか

ら姿を消している。実は、8月が一番落ち着いた季節なのかもしれない（台風はこの際除外）。そして私はいえ、今日も懲りることなく、花を探して歩く。が、別の事象が気になった。この年、久しぶりにブナの実が豊作だったから。通常、ブナは4年〜5年ごとにたくさんの実

を着けていたらしいが、最近では10年に一度豊作の年があるかどうかという状況だ。元々冷涼な気候を好むブナたちにとって、近年の温暖化は許容の限度を超えているのかもしれない。一万年近くの時間をかけて造られてきた生態系が崩れようとしている。

いつものように話が飛んでしまったが、それだけ久しぶりのブナの豊作だった。汗が滴る。限りなく湿度100%に近い森の中だから。目的はナツエビネ。私が大好きな花のひとつ。ランの仲間ではあるが、全く派手さがない。淑やかな佇まいに惹かれる。どぎつい要素がまるでない。白から優しい紫へのグラデーション。それほど日当たりがない湿った土壌や倒木に根を張り、ひっそりと数株で咲く。何も主張しなくても、見る者を瞬時に虜にする。言葉の選択は難しい。淑やかさの中に少しの妖しさを纏う稀有の花。それがナツエビネ。

登山時報

2022 **8** No.570

表紙写真：宮本宏明

「山上の楽園」

原始の香りが漂う日高山脈のカムイエクウチカウシ山へ。八ノ沢を登りカールで1泊して山頂を往復した。登山道の至る所にヒグマの落とし物。朝の撮影中、カール壁に目を凝らすと、遠くで黒い大きな動物が動いていた。



CONTENTS

- | | | | |
|----|----------------------|---|--------------------------------------|
| 01 | 連載 | 中国の青いケン探訪記 | 松永秀和 |
| 02 | 連載 | 四季の山岳撮影紀行 | 宮本宏明 |
| 06 | 特集 | 地元めっこ山岳会が紹介する 白山 | |
| 08 | 連載 | 白神便り | 原田勇成 |
| 10 | ふみあと | 山のかわいい! | 川嶋高志 |
| 11 | 連載 | 子づれ山さんぽ | 武井真理 |
| 12 | 特集 | 地元めっこ山岳会が紹介する 白山
白山の池巡りと憧れのお花松原
越前禅定道をつないで歩く
手取川水系・目附谷
白山釈迦岳南西尾根山スキー
厳冬期別山登頂 | 酒井正裕
板垣亜由
高原義光
浅瀬和人
崎田律子 |
| 19 | 連載 | 山楽登山の世界 | 中川和道 |
| 21 | シリーズ | コロナ禍で登山環境はどう変わったのか | 田上千俊 |
| 24 | 連載 | アドベンチャー・トラベル | 大蔵喜福 |
| 26 | 連載 | 山登りのための やさしい気象講座 | 野尻英一 |
| 28 | 専門委員会活動報告 | | |
| 31 | 全国連盟の活動 | | |
| 32 | マンガ | フウフウ ハアハア | 村松孝一 |
| 30 | インタビュー | ひと 八木澤昌通 | |
| 34 | 連載 | 地図読み迷人 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越 真 | |
| 36 | 連載 | 会・クラブ紹介 三島労山 | |
| 38 | ミニガイド | 丹沢・黍殻山 | 田上千俊 |
| 39 | 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう | ／ あらかると | 石井光造 |
| 40 | 連載 | 山の自由帳 | 篠塚優 |



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク(大豆油インク)を使用しています。

ふみあと

夏山シーズンを迎えて、コロナ禍の収束傾向とともに、多くの人が山へ行くようになってきた。山小屋の中には夏山期間は予約で一杯のところも多いとのこと、うれしい動きだと思う。その一方で、ミサイルが飛び交う世界情勢、銃乱射や理不尽な理由での殺人など、暗い話題が絶えない昨今の世の中に、登山事務所にしても溜息を漏らすことが少なくない。

さて、今年5月の上高地では、子育て中のサルの群れに出会った。母ザルにしがみついた大きな丸い目の子ザルが可愛らしかった。北八ツのしらびそ小屋では、餌台にやってくる小さな日本リスと朝食を共にした。まだ耳の房毛（冬毛）が残っていてとても愛らしい。初夏の入笠

山では、スズランの開花が最盛期を迎えていた。手入れの行き届いた「山野草公園」のドイツスズランは見事に美しい。それにも増して、葉の陰で恥ずかし気に咲いている日本スズランが愛おしい。山はなんと素敵な出会いに溢れていることか！

言わずもがなではあるが、遭難事故だけは避けていただきたい。警察庁発表の山岳遭難数は、2019年から2年続けて減少したものの、昨年度は増加に転じた。登山会員の事故も増えており、269人（7月号参照・前年比+30人）となった。

山登りで守って欲しいことは次の三点である。まず、自然を傷つけない。次に、他人に迷惑をかけない。そして、無事に帰宅する。これだけを心がけ、電

子機器に囲まれた環境から抜け出して山へ行こう。大自然は争うのではなく、協調して共存していくことの大切さを教えてくれる。

そして、そんな時、ほんの少し立ち止まって考えてみていただきたい。「ロシアに制裁を」「ウクライナに軍事支援を」「日本に核抑止力を」など声高に叫ぶ動きに対し、私たちはどのような判断をすべきなのか？ 私たちが安全に山へ行けるのも、空気のように考えてきた平和な社会があつてこそものだけということ、ほんの一瞬でもいいから意識していただければと思う。山で出会う可愛らしい動植物も、きっと私たち一人ひとりのより良い選択を願っているはずだ。

(川嶋高志／日本勤労者山岳連盟 理事長)

番外編～書籍紹介 山さんぽヒント編

子づれ山さんぽ、山までの移動がまず大変。移動だけで疲れてしまうので、移動時間が長すぎたり、乗り換え等が複雑だったりするのは避けたい…。そんな理由で「居住地の近く」「アクセスの良さ」は重要。そうして調べていると、いつしか「自分の居住地をより楽しむ」ことにもなった…「近場」を見つめ直す時に、参考になる書籍を紹介します。

『東京ハイキング案内』

山と溪谷社 2022年3月刊 ¥1,980(税込)



様々な角度から「東京」「ハイキング」をとらえ直す1冊。ちなみに「東京」「ハイキング」で思いつく、奥多摩や高尾山はこの本には登場しません(!)

コロナ禍で移動が制限され、近場で楽しむ機運の高まりもあってか、ここ1～2年程「近場でハイキング」「日帰りプチ旅行」といった視点で、東京を見つめ直す書籍の出版が相次いでいる気がします。

この本もそんな1冊。「崖線」「坂道」「河川」「^{あんきよ}暗渠」「埋立地」「史跡」…様々な角度から「東京」「ハイキング」をとらえ直す1冊。

ちなみに「東京」「ハイキング」で思いつく、奥多摩や高尾山はこの本には登場しません(!)…様々な角度から、東京の地形の成り立ちを、歴史背景もまじえて読み解きながら歩く楽しみを紹介。

そんな中で「丘陵」も重大テーマに！私がこの連載で度々取り上げている、多摩丘陵についても大きく取り上げられています。

東京都及び神奈川県の外郊にあたる多摩丘陵は、住宅開発が進み、舗装道と森の中

子づれ山さんぽ^こ vol.61 やま

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ
峻 2018年7月生まれ



の道を交互に繰り返しながら歩くことがほとんどで、とかく道に迷いやすいのですが、その対策やポイントもカバー。地図にコースタイムまで載っています！以前、この連載でも紹介した、「よこやまの道」(2017年10月号)、「小山田緑地」(2018年11月号)について、ここまで詳細なガイドは他に出ていないはず。

第1子の妊娠中に引越してきた多摩丘陵は、私にとってたまたま「近場でこどもと行きやすい森」「原っぱや芝生があり、安心してこどもを放てる」場所だったので、巡り歩くこととなりましたが、それは自分の居住地を、より楽しみ、掘り下げて知ることにもつながりました。これは私の子づれ山さんぽの重要要素なのでしょう。

「自分の居住地を新たな視点で見つめ直す」ヒントにあふれた1冊です。



東京の丘を歩く



迷いやすい、丘陵地の、目印や道標の情報充実。コースタイムまで出ている…!

白山

2702m

特に花の時期は登山者で賑わう。ルートは石川県側の市ノ瀬から砂防新道をたどる登山者がほとんどであるが、中にはホワイトロードの三方岩岳から南下したり、岐阜県側の石徹白^{としろ}から北上したりして、長駆して山頂に立つ登山者もいる。

白山の池巡りと憧れのお花松原

甚之助避難小屋をベースに花の白山を楽しむ

酒井正裕

OB 会員

別山から白山本峰を望む

1日目
市ノ瀬から観光新道、黒ボコ岩を経て甚之助避難小屋（5時間30分）

市ノ瀬からシャトルバスに乗り、別当出合へ。シャトルバスはシーズンさなかで、それほど待たずに乗車できた。別当出合で身支度を整え、砂防新道に向かう登山者を横目に観光新道をたどる。観光新道は出合から急な坂が続き、稜線に出るまでは辛抱である。稜線までは標高差で4〜500mあるので、1時間半ほどかかる。稜線に出ると傾斜が緩くなり、登山道脇にクルマユリなどの花が咲き、楽しませてくれる。やや痩せ気味の尾根をたどると、仙人窟を経て殿ヶ池避難小屋につく。ここから真砂坂をたどる。傾斜が増すが、この避難小屋から黒ボコ岩にかけては素晴らしいお花畑が続いている。花好きにはたまらないところで、砂防新道にはない魅力がある。

やがて大きな岩がゴロゴロする黒ボコ岩に着く。今日は初日もあり、ここまでとして甚之助避難小屋に向かう。途中、あちこちに水場があり、のんびり下った。

甚之助避難小屋は、建て替えられて新しい。水も豊富であり、快適な一夜を過ごすことができた。

2日目
甚之助避難小屋から御前峰、大汝峰、お花松原、南龍ヶ馬場を経由し甚之助避難小屋（10時間）

7月下旬、高山といえども日中はとても暑いので、山頂でご来光を拝むことも考えて早めに出発する。真夜中の中の出発といったほうがよいが、観光新道からご来光を拝むために登ってくる登山者が多くいることに少なからず驚いた。

黒ボコ岩までは砂防新道をたどる。その先は平坦になって室堂に続いている。室堂センター



白山山頂で日の出を待つ



真砂坂は花盛り

を抜けて、たくさんに登山者ととも山頂に登る。しばらく待つと日の出。久々に日の出を拝んだ。写真を撮り小一時間ほど山頂ですごした後、登山道を北にたどる。池めぐりの始まりである。白山は山頂付近に翠ヶ池、紺屋池などがあり、大小様々な池を巡ることができて楽しい。日帰りであっても、ぜひ歩いてほしいと思う。せっかくここまで来たので、大汝峰にも登っていいよ憧れのお花松原に向

かう。お花松原は、大汝峰や南から北縦走路を400mほど下ったところにあり、白山随一のお花畑といわれている。私たちが歩いた昨年は例年になく残雪が多く、雪渓で登山道がわかりづらかった。ある程度雪渓を下ると、登山道は雪渓を離れてトラバース気味に続いている。登山道が尾根に乗り、その先に小ピークがある手前がお花松原だ。本当に残念なことに、残雪が多かったために花の最盛

期はまだ先であった。それでも、クロユリやアオノツガサクラなどが目を楽しませてくれた。来た道を登り返し、御前峰を巻いて展望歩道から南龍ヶ馬場を目指す。御前峰の巻道はコバイケインソウの花を目当てにアサギマダラが舞っていた。たどった南龍ヶ馬場もなかなか霧囲気の良いところで、ついつい長居したくなりそうなどころだ。ここからは平坦な道をたどり、甚之助避難小屋に着いた。

3日目

甚之助避難小屋から南龍ヶ馬場を経て別山、別山からチブリ尾根を下降して市ノ瀬（8時間）

今日も暑さを避けるため早めに出発する。南龍ヶ馬場まで平坦な道をたどり、油坂に取り付く。先は長いので、ここで水を汲んで一息つく。油坂を登りきると大屏風の痩せ尾根に行く。怖そうな地名だが、思ったほどでもない。幾



日程：2021年7月22～24日

メンバー：酒井正裕 (OB)、会員外1名

【留意事項】

甚之助避難小屋は利用者が多いので、早めの時間に到着するようにしたい。

つものアップダウンを越えていくと花の美しい稜線をたどって御舎利山に着く。別山まで一息だ。今山行のファイナルピークの別山は、振り返って北を見ると白山が美しい。南を見ると、石徹白から三ノ峰に続く稜線が望まれる。若いころスキーで滑った大平壁は、足元から切れ落ちていいるのではと思うほど急で、その先が見えなかった。しばらく休んでからチブリ尾根を下る。この尾根は、花は多くないが直接市ノ瀬に下ることが出来る。足を引きずる手前で、何とか市ノ瀬に着いた。

越前禅定道をつないで歩く

旅のような山行、感慨深い2日間

板垣亜由

1日目

平泉寺〜法恩寺山〜伏拝〜祓川
〜小原峠〜川上御前〜市ノ瀬(9
時間)

スタートは苔の素敵な平泉寺。一度訪れたいと思いつながらなかなか行けなかった。今回は、ちよ

うど良い時期に来ることができてよかった。

平泉寺の美しい苔を楽しんだ後は法恩寺山へ向かう。登山道は美しい樹林帯だが、風が通らないので汗が止まらない。

法恩寺山からは伏拝を経て祓川の登山口へ。ここで小原峠に



樹林帯



鎖場に行く

向かう林道と合流する。この区間が新しく整備されたらしい。トラバースや急登もあるが、しっかりした鎖があり楽しく歩けた。ただ、天気が悪いと歩きにくいかもしれない。また、日差しが強暑だったので祓川〜小原峠登山口、川上御前〜市ノ瀬間の林道歩きでばてってしまった。夜は市ノ瀬野営場でテント泊。

2日目

市ノ瀬〜六万山〜観光新道〜本峰〜砂防新道〜別当出合〜市ノ瀬(10時間半)

市ノ瀬から六万山、指尾山を経て観光新道へ。殿ヶ池避難小屋前後から残雪が時々みられ、花も咲き始めていた。

山頂に着いたら少し寄り道をして転法輪の窟を見に行ったが、窟の周りには結構残雪があり、12本アイゼンにピッケルも欲しい感じだったので今回は諦め

た。帰りは砂防新道で下山。予想以上のお花の多さに癒されながら下った。

登山というよりは旅のような山行だった。

禅定道というからには昔のお坊さんもこの道を歩き修行したのだからか。とにかく長いので修行にはびつたりの道かもしれない。

白山をまた違った視点で見ることができ、感慨深い2日間になった。



日程：2021年6月17～18日

メンバー：板垣亜由、会員外1名

注：禅定道は、山頂に登るまでの山道を言い、禅定道の起点は修行の起点となる。越前禅定道は白山のいくつかあるものの一つで、平泉寺を起点に、三頭山、稚児堂、法恩寺山頂を通り、伏拝から和佐盛、小原峠、河上社、市ノ瀬、剃刀岩屋、弥陀ヶ原、室堂を経て白山山頂に至る直線距離で30キロメートルの道のり。



二重滝

沢は秀でたルートが多い。白山の北に位置するホワイ
トロード（旧・白山スーパー林道）沿いには、スラブの
発達した美しい沢が目白押しであるし、石川県側では目
附谷、岩屋俣川別山谷、岐阜県側では尾上郷川カラスノ谷、
大白水谷、小白水谷など、枚挙にいとまがない。

手取川水系・目附谷

白山一の長大な名渓を遡行する

高原義光

1 日目
林道ゲート〜巡視道入口〜目附谷
入渓〜鳴谷出合付近ビバーク（11
時間）

初日朝、下山口の岩間温泉に車
を一台デポし、一里野温泉スキー
場から林道を走りゲートの前に車
を停めた。ゲートを越えて林道を
延々と歩く。その先の目附谷を渡
る橋の下から入渓するのが一般
的とのことだったが、我々は手前
の深谷からはじまる巡視道と呼ば
れる登山道を進む。わざわざ小屋や
道標もあり、地形図には載ってい
ないが立派な道。堤防がある支沢
にぶつかり巡視道が消えてしまっ
た。しばらく右往左往して迷った
が、その沢を目附谷へ降りる。途
中テンカラ名人とすれ違い、この
支沢を降りるのが正解と教えても
らってひと安心。降り立った目附
谷は明るく広い。しばらく石がゴ
ロゴロした単調な平沢を歩く。イ
ワナがよく走り、魚影は濃いがメ
ンバーに釣りをする者はおらず残
念。鳴谷出合を過ぎた辺りで時間
的に適当な場所までビバークとする。
この日は中秋の名月の翌日で満月
ヘッドレンが要らないほどの月明か

りだった。寝袋でゴロ寝していた
が、夜露に濡れていることに気づ
き、慌ててツエルトを被った。

2 日目
ビバーク地出発〜紅滝〜二重滝〜
ゴリラ岩〜二俣〜滑滝〜稜線〜小
桜平避難小屋（14時間）

6 時出発。目附谷には紅滝と二
重滝という滝がある。まず紅滝は
滝壺右岸の草付きルンゼから巻
く。二重滝も手前右岸から巻き上
がる。国土地理院の地形図での紅
滝表記は、実は二重滝というのは
有名な話（?）。この日の水量はそ
れほどでもなかった。いくつもの
小滝も越え、続いて名物のゴリラ
岩（子泣き岩）の前で記念写真を
撮る。その後は特に大きな変化も
なく淡々と遡行
するも、小滝で
メンバーのひと
りが足を滑らせ
てドボン。膝を
痛めてしまい、
ここから歩みが
遅くなる。例年
では雪渓が残っ
て処理に苦労す



日程：2019年9月14日（土）～16日（月）
メンバー：崎田律子、本多香織、目崎恵介、
高原義光
アクセス：交通事情から、アクセスはマイ
カーが一般的。岩間温泉には15台程度の
駐車場とトイレがある。一里野温泉スキー
場の林道ゲート前には路肩に6～7台程度
の駐車スペースがあるが、邪魔にならない
ように駐車したい。

るといふゴルジュ帯も、今年は雪
が無く勞せずに通過できたのは幸
い。二俣は右俣を行く。いつの間
にか霧が出ており、上部では滑滝
も現れる。なかなかの高巻きが1ヶ
所あり、谷に降りる際に懸垂した。
ロープを出したのはここだけ。ほ
どなく霧を抜け出し源頭へ。振り
向くと雲海が広がる。稜線でひと
休みし遡行できたことを喜び合う。
もう日が傾き夕日の照らす中、岩
間道を下り始める。長く感じる夜
道を歩き、へとへとになりながら
小桜平避難小屋へたどり着く。

3 日目
小桜平避難小屋〜岩間温泉（3時間）

最終日は寒々新道を岩間温泉へ
降りるだけであった。

白山釈迦岳南西尾根山スキー

訪れる人も少ない隠れた名ルートを滑る

浅瀬和人



白山釈迦岳にて

白峰の「緑の村ゲート」前の路肩に車を停めて真っ暗な中、ヘッドランプを灯してスタート。「百万貫の岩」を過ぎ、作業用の橋を渡って宮谷川林道へ。カナキ谷と宮谷川はスノーブリッジを渡り、白山釈迦岳南西尾根へ取り付く。

ここからの斜面はどこも急なので、地形図で登りやすそうなところを狙いジグを切って登っていく。

緑の村ゲート前へ橋を渡り宮谷川林道へ宮谷川を渡る白山釈迦岳へゲート到着（15時間）

積雪期となれば、いたるところ山スキーの好ルートとなる。白山本峰をめぐる石川県のルートだけでも、砂防新道、観光新道、釈迦新道、湯の谷など、数本を挙げることができる。

岐阜県側も、三方崩山の弓ヶ洞谷、大ノマ谷をはじめとした前衛の山々にも秀でたルートが存在する。

ただし、石川県側については積雪期登山のベースである市ノ瀬まで道路が開通するのは4月中旬以降であり、それ以前に実施する場合は自転車などを利用して取り付くしかならないことに留意する必要がある。

また、その積雪量やアクセス事情から特に厳冬期の登頂は気象条件にかなり左右される。

尾根に出ると、御前峰から別山、砂防新道や観光新道、湯之谷などがよく見渡せる。目を転じると、ナナコバ山へ白山釈迦岳へとアップダウンした尾根。足下には宮谷川の両岸に広がる台地。白山の奥深さを一望に眺めながらいくとやがて気持のよいブナ木立の広尾根となり、リズムカルにシールを効かせて登っていく。そして緩やかな無木立斜面から白山釈迦岳（標高2053m）に到着。

この山頂からの稜線は、白山の大汝峰へと繋がる。

しばらく山頂の展望を堪能した後、スキーの準備をする。と、ここでトラブル発生！ビンディングの調整を忘れて、兼用靴の後ピンのかかりが甘い。これで上部のクラスト気味の雪を滑ると外れてしまう。仕方ないので上部はアイゼンを履いて下り、雪が緩んだ頃合いをみてスキーを履く。優しくスキーターをすれば大丈夫。（その後、工具を携帯することにした。反省。）

気持ちの良い尾根を順調に滑り下り、標高1693mの微妙



電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成

日程：2021年2月14日 日帰り
メンバー、記録：浅瀬和人

な尾根の凸はトラバースでこなしたが、下る尾根を間違えて上り返し、ようやく宮谷川林道に降り立つ。あとは林道滑りで緑の村ゲートに帰着。

白山釈迦岳南西尾根は、取り付ける時期は積雪が落ち着く頃からスノーブリッジが繋がる期間限定であり見極めが必要だが訪れる人も少ない隠れた名ルートだった。

厳冬期別山登頂

天候とメンバーに恵まれ、念願の登頂

崎田律子

昨年の年末、林道アプローチ

はスキーを活用し、寒波襲来前

の寡雪と好天に恵まれ念願の別

山の頂きを踏んだ。

1日目

白峰風嵐ゲートから猿壁を経て

チブリ尾根1350m地点(11

時間40分)



別山登頂

過去の反省を生かして今回は風嵐ゲートから猿壁まではスキー作戦。下見で歩いた1週間前よりも雪は大



御舎利山への登り

分落ち着き、更にサブライズで会員のTさんがトレースサポートに来てくれ、猿壁には12時着。3年前は2時間かかった市ノ瀬、猿壁が今回は40分と大幅に時間短縮できた。

猿壁でスキーと靴をデポし、尾根に取り付く。春山のような暖かさの中、空身ラッセルで先頭を交代しながら高度を上げ、予定よりも上の1350m地点でテン泊。3年前は時には胸ラッセルだったことを思うと今回の膝ラッセルは格段に好条件だ。



御舎利山への登りその2

2日目

テン泊地点からチブリ避難小屋(5時間) — その後2200m地点までトレース作り

5時30分発。夜中から朝方にかけて小雪がちらついていたが、出発後ほどなく止む。ただ、気温が高いせいかガス模様。今日も空身ラッセル作戦で、前回は見つけるのに苦労したチブリ避難小屋には10時20分と早めの到着。明日のアタックに備えて全員でトレース作りに向かう。チブリ尾根は複雑な地形で視界が

白山



別山への登り

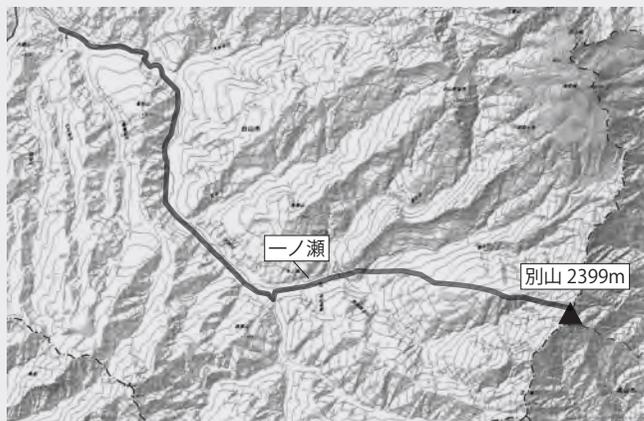
3日目
チブリ避難小屋から別山登頂、
チブリ尾根を下り猿壁からス

悪いと迷いそうなため、赤旗とピンクテープを付けながら、リーダーの言う三角おむすびの下の標高2200mまで。「(登頂への)みんなの執念を感じました」とメンバーのIさん。リーダーの「もう宿題は残したくない」の言葉どおり、ここまでトレースを作れば明日はきつといいアタックができるだろう。
テントも小屋の中でギリギリ何とか張られて、快適な一夜を過ごす。

キー滑走、百万貫岩先のスノーシェッドでテン泊(8時間30分)
5時発。月明かりと星空が今日の登頂を約束してくれているようだ。昨日のトレースは風で一部が埋もれているが、大方残っており順調に高度を上げる。途中、氷結した箇所でもワカンからアイゼンに履き替え、残雪期にはナイフリッジになる箇所は問題なく通過。左手にはちょうど1年前に頂に立った真つ白山が均整のとれた姿で鎮座し、右手には福井の山々、御舎利山からは北アルプスの峰々もきれいに望める。御舎利から別山へ近づくにつれて何だかじわじわと込み上げるものがあった。7時40分別山登頂。冬以外の季節は数えきれないくらい訪れている別

山へ近づくにつれて何だかじわじわと込み上げるものがあった。7時40分別山登頂。冬以外の季節は数えきれないくらい訪れている別

山だが、冬は荘厳な感じが格別だ。幸運にも昨年、今年と連続でピークを踏めたことに感謝。足の揃ったメンバー、好天、サポート、過去の経験、全てが噛み合つての結果だ。
名残惜しいが、記念撮影して頂上を後にし、避難小屋へ降りる。明日からは数年に一度の大寒波が来るらしく、今日はできるだけ下りたい。小屋から降りる途中でリーダーが何度も別山を振り返る姿が印象的だった。登頂できた達成感、安堵の一方で、多分、一抹の寂しさも感じているのだろう。
下りは早い。今日も春山を思わせる陽光の下、気持ちのいいブナ林のチブリ尾根をサクサク下り、猿壁には13時30分着。スキーに履き替え百万貫岩先のスノーシェッド下でテン泊。



電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成

日程: 2020年12月27~30日

メンバー: 崎田律子、板垣亜由 (以上めっこ山岳会)、北市正、菊正美 (以上、チャムラン山の会)

4日目
百万貫岩先のスノーシェッドから嵐風のゲート(1時間)
小雨降る中、1時間余りで嵐のゲートへ。
午後からは予報通り大荒れになった天候。今回山の神様がプレゼントしてくれたワンチャンスを最大限生かした幸運とメンバーのみんなに感謝である。

山楽登山の世界 essay

③

火星最高峰への登頂は どんな登山になるか？

これは登山か？

中川和道 OWC大阪勤労者登攀クラブ／大阪



大阪労山ニュースに2018年から連載中の随筆「山楽登山の世界」から抜粋して掲載する。本誌ではこの中から「ヤマ」というものをいろいろな角度から出来るだけ楽しく「山楽」として見つめてみる。ここに登場するのは「奇想天外」な火星の話である。

出処 <http://owafnews.aikotoba.jp/kikanshi1811.htm>

「宇宙で登山」という時代が来てもおかしくないと思っています、と語る早稲田大学山岳部の冒険心・探検指向（早稲田ウイークリー2018年1月24日）が私にはとてもまばゆく、すっかり乗せられた。彼らが語るとおり火星にはオリンポス山（21900m）という、それこそ、ど・高・い山がある。21900mの山に登るとはどういうことだろうか？

1953年エベレストを初登頂したヒラリーとテンジンは、防寒服と酸素ボンベを装備して頂に立った。オリンポス登頂には何が必要だろうか？ 『宇宙兄弟』にまねて調べたら、（1）重力が小さい。（2）大気がうすい、というか、ない。（3）気温が低い。

17%しかない月面では人間はぴよんぴよんと歩行した。火星の重力は地球の約40%。体重60kgの人は体重24kgに一気に減量した筋肉負荷だ。（2）大気がうすい…いや、空気がない。火星大気圧は地表で7・5hPa、オリンポス山頂での0・3hPaはエベレスト山頂の約300hPaに比して1/100に過ぎないから、宇宙服とかカプセルなどの加圧装置なしでは人類は生存できない。NASAの宇宙服は地球での重さ120kgだから体重60kgと合わせて地球での重さは180kgになる。火星の重力40%では180kg×0.4=72kgの重さだ。（3）気温：『宇宙兄弟』など読むと、やはりマイナス80度とかになるだろう。

（1）重力が小さい…重力が地球のはどんな登山になるのだろうか？

加圧カプセルから手足を出してのこの登るといふ風情もあるが、やっぱり宇宙服だろう。宇宙服と体重との合計の重さ72kgから地球の体重60kgを引けば、12kgのポツカだ。これなら行ける、まだ持てるかも。NASAの船外活動用宇宙服の前面に、却下を承知で3リットルくらいの容器をつけてみたら、図のようになった。何しろ「夢の登山」だ。あなたなら何を持って行きますか？ 私なら、やっぱりバイオエタノール（お酒のことです）かなあ？？（笑）

でも、と考え込む。これって登山かしらん？ この宇宙服登山は、何だか、深海探査・深海作業での「ヘルメット潜水」みたいだ。登山の世界にはフリークライミングという、条件限定的ながら自分の体ひとつで人間の限界を極める魅惑的な登山スタイルがある。フリークライミングと潜水の世界のスキンドアイビングとを比較することから始めて、宇宙服登山はどこまでが登山かを考えて行くと面白い。『人間はどこまで耐えられるのか』というアッシュクロフトの本を読んでみようと思った。

大阪労山ニュースに2018年から連載中の随筆「山楽登山の世界」から抜粋して掲載する。今月号はそこから「八ヶ岳氷瀑滑落事故の救助」にまつわる随筆を掲載する。

出処 <http://owafnews.aikotoba.jp/kikanshi2001.htm>

山楽登山の世界

essay

④

登山と法律 その救助、法律的に無効

中川和道 OWC大阪勤労者登攀クラブ/大阪

1982年2月晴天の日だった。八ヶ岳小同心を登ろうと星稜登高会のTと2人で入山。赤岳鉱泉小屋に立ち寄り、鳥肉を食べて馬力をつけ心を奮い立たせていた。その時だ。男が青い顔で走り込んで来て小屋のご主人に必死で何か訴えている。あかん、事故だ。ご主人が鋭い視線で登山客を眺め、救助隊を探している。2人はそっぽを向き「私は他人」を決め込んだが、だめ。大きな声で「そこのお2人!」、あーあ。

運命を呪いつつ2人はジョウゴ沢を登った。聞けば、ソロクライマーが30m大滝の抜け口でアイスパイルがはずれて墜落し滝底で足首を骨折。動けないまま次の人を待ったら2人目もソロ。救助を依頼された彼が山荘にやってきた。プロガイドのS野さん一行がまずスノーボードを担ぎ上げ、「使える人間をあと2人以上つれて来い」となった。私達が到着したときスノーボードは大滝の下の20m垂直氷瀑の上で待っていた。S野さんに総指令をお願いし、私は大きな流木にロックハーケンを打ってボードを垂直に吊るし、Tとあと1人が下から逆V字に振れ止めを施しつつゆっくり氷瀑を下ろした。次に5m、15mなどの氷瀑群を順調に下ろす。やっと一般登山道に出た。

おや、硫黄岳の登山道からスノーボードを囲んで大勢の人々が下りてくる。見れば、東京都西部連盟で名を馳せるO氏（今は労山カレンダーの大写真家）がリーダーではないか。「何だよ、中川さんも救助訓練かい?」「え、冗談じゃないですよ。本物ですよ」「じゃ、うちの怪我人役は歩かせる。中川組に合流するよ」「すみません」。そして赤岳鉱泉へ。ここでS野さんから重大な発言。「あなた方の救助はまあ合格。ここから登山口までおろす際の注意事項は何か」「はあ、丸木橋からスノーボードが落ちこまないように中央部を掘り下げる先遣隊を送ります。ボードにしばらく前前に小便をしてもいいですよ」とか何とねん?と思いつつ答えた。S野さんは「私は客2人を連れて小同心正面クラックを登りに来た。今からならまだ可能だ。事故者をおろす救助、あなた方に頼みたい。引き受けてくれまいか?」「はあ、お客はいくら払ったんですか?」「小屋代交通費別でひとり〇万円だ。だから何とか登らせてやりたい」「了解です。S野さんご尊敬申し上げております。やらせていただきます」。

S野さんが去ったあと、私とOさんはどっと不安に襲われた。何しろプロじゃない。どんな不手際を起すか分からない。私は、小便をしておられる男性に「プロじゃない皆さんに救助を依頼する以上、何があっても一切の責任は問いません」という（無効な）念書を書いていただいた。

私とOさんの合同救助隊は、彼を無事に登山口の下ろすことに成功した。警察が車で上がって来ておられ、「痛み止めは、何を、何時に、何錠飲ませたか」とまず聞く。さすがなものだ。詳しく書いてお渡ししたら駆け出しクライマーだった私に丁寧なお礼を述べて下さった。感激した。

東京に帰ったら、事故の方からいねいなお礼状と、何と10万円近いお礼金が届いた。びっくりした私はその日のうちに「明日は我が身かも知れない。こんな大金を関係の皆さんにお払いしたのでは、山をやめてしまうかもと心配。お金は返すから、山はやめないで下さい。山で、また、お会いしましょう」と送り返した。周囲からは「青いなあ」と揶揄された。

「いっさいの責任問いません」は無効だとお聞きしたのは、2012年10月の溝手康史さん講演会「登山と法律」の場であった。座談会でA弁護士にも切々と言われた。アマチュアゆえの怖さから過剰防衛をしてしまった。前も後ろも右も左も見えない、体当たりの、すごい体験だった。



あと30分でめざす金北山だ

コロナ禍で登山環境は どう変わったのか 第3回

登山者が戻りつつある山々

5月連休の3日間、東京立川市周辺で活動するHC WildBerryでは半年ぶりに宿泊山行・佐渡島大佐渡縦走(尻立山940mから金北山1172m)を2泊3日で実施した。新潟港からフェリーを往復利用し、観光客だけでなく多くの登山者が見られたという。縦走は4名定員の個室2部屋に参加者8人が宿泊した。総勢30名ほどの宿泊者の食事については感染対策のため、2回に分けていたという。2泊目は民宿で、一階の大部屋2部屋を8名で使用し、夕食は個室でとり、結果として感染者はゼロ。なお、参加者全員が3回目のワクチン接種済みとのことである。

埼玉県ふるさと山・ 日和田山で

は7時間ほどの行程で、若いハイカーのグループが多いなか、10名以上のツアーも一組おり、FBの記載などから同時期に栃木や千葉県の労山所属会も訪れていたらしい。

故田部井淳子さんが晩年病をおして登り続けた日和田山(305m)を5月下旬に訪ねてみた。西武池袋線沿線の高麗駅から歩いて登山口まで15分位。登山口には無人の有料駐車場(終日300円)もあり、アクセスはばっちり。下山してきた20歳代と40歳代の所沢市在住の女性

HC WildBerryのリーダーによると、初日、尻立山9合目付近のドンデン山荘で



「ひばりが丘幼稚園」の皆さん

二人は「月1回くらい来ています。物見山(375m)まで行ってきました。自宅から車ですの
で感染の心配がありません」と話していた。埼玉県戸田市在住の60歳代のご夫婦は、「夫が病氣

をしてリハビリのつもりで2年前から来ています。ワクチン接種も3回済ませ、車だから安心なんです」と同じくアクセスの良さを強調していた。

11時半ころには西武線沿線に

ある「ひばりが丘幼稚園」の5歳児15名の団体が下山してきたところに登山口で遭遇した。付き添いの保育士さんは「ここに来るのは2年ぶりなんですよ。以前は物見山まで2時間以上かけて歩いていましたが、今日は日和田山往復です」とのこと。コロナも収束に向かっている昨今の情勢とワクチン接種効果が相俟って、人々が少しずつ山へと向かっているようだ。

岩登りゲレンデの 日和田山では？

可愛い園児たちに別れを告げ、一つ目の鳥居を越え、岩登りのゲレンデへと向かった。日和田山の中腹・西側には北山真編『日本の100岩場』に掲載されているゲレンデがある。多くのクライマーがここで育ち、谷川や穂高の岩壁に挑戦してきた。だが、この日は男岩が見えてもコー



男岩西面

コロナ禍で登山環境は どう変わったのか 第3回

登山者が戻りつつある山々



貸し切り状態の岩場でのんびりと昼食をとる3名

ルが全く聞こえない。「ここでそんなはずはない」と思いながらさらに近づく、基部に二人の女性がおおり、ルートでは一人の

男性がソロで登っている。「『登山時報』という月刊誌の取材で来ました」と声をかけると、女性たちから「私達は大宮勤労者

山岳会の会員です」と思いがけない答えが返ってきた。クライミングを始めて2年、この夏剣岳の岩に挑戦したいという40歳の綱川由記子さん、「長くやっていますが、なかなかうまくありません」と謙遜する60歳代の長谷川貞子さんのお二人である。大宮登山ではクライミング志向の会員が40名を越え、活発な活動をしている。同行の男性は飯能勤労者山岳会の千葉正幸さん（70歳）。以前埼玉県連盟がついていた「クライミングネットワーク」を引き継いで責任者となり、登山会員外も含めて活動している。6月からは対面でのミーティングも再開し、毎月1回、いくつかのゲレンデでトレーニングを続けていくという。コロナ対策では街場と同じく「マスク・消毒グッズ・対面での食事は避ける」ことを徹底している。3人の明るい笑顔に誘われ、しばしクライミング談義に話が弾んだ。

全国の状況は？

昨年6月の「全国ハイキング活動者会議」参加者38名に簡単なアンケートをとってみた。①今年になり山行数・参加者が増えましたか？（38名中16名がYesと回答）②バスハイイクを再開しましたか？（38名中6名がYesと回答）③例会を対面（WEBも含む）で実施していますか？（38名中14名がYesと回答）④会員が増えていますか？（38名中6名がYesと回答）このように全国的にも徐々に登山を再開させている様子が窺える。また、北海道道央地区連盟登山教室では50名を越える応募者があり、盛岡山友会初心者登山教室は定員20名のところ2日で30名を越えたという。コロナが収束に向かいつつある今、科学的に登山活動にアプローチしつつ登山者の立場に立った活動を推進する登山がまさに出番という情勢ではないだろうか。

（本誌・田上千俊）



3万年の流れは、その正確な姿を覆い隠す —隕石クレーターの山—



上空から見たクレーター○点間の尾根筋、4割の半円縁が登山道に。

3万年前、氷雪に閉じ込められ飢餓状態にあった西ヨーロッパのネアンデルタール人は、体躯に病的な“逆進化”現象が起こって弱体化し、地上から忽然と消えてしまう。東方から進出した知能の高いクロマニオン人によって駆逐されたとの説も。我が国は、氷河期でもヒトが住める環境にあり、その周辺は大陸と地続きになっており、東京辺りは今の北海道と同じような環境で、干上がった瀬戸内海には高山植物が咲いていたという。衣食住や燃料までを大型の草食獣に頼っていた、マンモスハンターの時代である。

南

信州遠山郷には、約3万年前に隕石が衝突した山

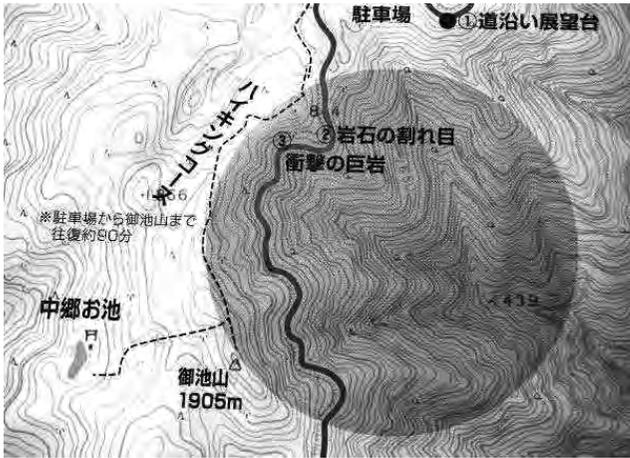
がある。世界でも珍しい隕石クレーターを持った御池山（1905m）である。事前知識なしで訪れると、目前に広がる山々の景色がクレーターとは全く信じられず、ただ森林に覆われた山の斜面としか見えないのだ。

当時、ここにヒトが住んでいたかは定かではないが、北海道から九州にかけて5千カ所を超

える後期旧石器時代の遺跡が確認されている。人類の生きた最古の時代である旧石器時代の人口は、研究者によっても違いがあるが、後期旧石器（4万〜1万3千年前）には200〜300万人だったと推定されている。その時代の東日本では、マンモスの仲間であるナウマンゾウなどに頼って生きていたことは確かであり、遠山郷に近い浜名湖北岸からは牙や下顎骨の化石が出土している。直径45mの隕石衝突には相当数の歴史の証人がいるはずである。彼らにとつては驚愕であり、それこそ奇跡のような出来事であっただろう。

恐

ろしい超自然現象はヒトに何を残したのであろうか？ マンモスハンター達は巨大な乳房と豊満な臀部をもったビーナスをさかんに作り後世に伝えた。人知を超えた偉大な存在である、霊に生命の不思議とヒトの多産を祈ったとした



御池山と御池のルート図



モリアオガエル生息地、中郷御池。カエルの合唱は川の速い流れの音に聞こえた。左の木にある白い点は白い泡状の卵塊。

る下栗集落としてらびそ峠を結ぶ南ア・エコーラインのほぼ中央に位置する。南・中央・北と三つのアルプス景観にぐるりと囲まれ、標高1900mから見る澄み渡った星空は、天体マニアからは日本一と形容される。御池山ハイクは、エコーラインの扇子平登山口からクレター

の縁でもある尾根道を半円を描くように北から南へ往復遊歩する、約2時間3・6kmのコースで、小さなアップダウンと岩場がある。南の肩が頂上1905mで、その手前に中郷御池への分岐があり、御池1784mへはクマザサの絨毯を標高差120m下る。モリアオガエルの生息地である神秘的な池には、雨乞い伝説の神が祀られた祠が静寂の中に佇む。中間点と頂上からの展望は大沢岳、兎岳、聖岳から光岳まで壮大だ。頂上は開けたクレターの縁にあり、歩いてきた尾根が丸く円になっていることが実感できる。

3 万年の時は、生々しくめり込んだ時間を埋め尽くすには十分なものだ。今は見えない太古の姿は想像するしかないが、坂本先生の存在がなかったら、埋もれたままの歴史だったと思うと……また新しい視点で山を眺めることができそうである。

ら、隕石が原始宗教の嚆矢（こうし）であるのか？ 当時の平均寿命は32歳ほどと推測されている。少し脱線したが、クレターの直径は900mで、現在その半円地形（クレターの4割）を見ることが出来る。衝突の証拠は、山の斜面を掘って出た土砂の小礫、地表に露出するチャートの巨岩に見られる。衝

突の衝撃波によって石英の結晶構造に細かいズレが生じて、幅千分の1mmほどの平面が結晶構造と異なる方向に平行に走った組織が検出されたのである。さらにクレター内にできた同心円状の割れ目（横割れ）と放射線状の割れ目（縦割れ）が、衝撃の凄さを表している。

御池山隕石クレターは、2010年に学会誌『隕石と惑星の科学』に論文が掲載された。国際的にもめずらしく、日本では初めて認定された。発見した坂本正夫先生は地元で教師をしながら研究に勤しんだという。辛抱強い調査研究である。御池山は、南アルプス大沢岳の支脈、奥茶臼山塊の裾に当た

る下栗集落としてらびそ峠を結ぶ南ア・エコーラインのほぼ中央に位置する。南・中央・北と三つのアルプス景観にぐるりと囲まれ、標高1900mから見る澄み渡った星空は、天体マニアからは日本一と形容される。御池山ハイクは、エコーラインの扇子平登山口からクレター



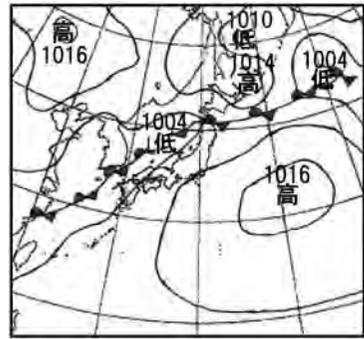
第29回

山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

北海道と本州以南との 夏山気象を比較

図1：幌尻岳登山時の天気図（2002年8月9日）
前線がその後も停滞し雨模様が続いた。

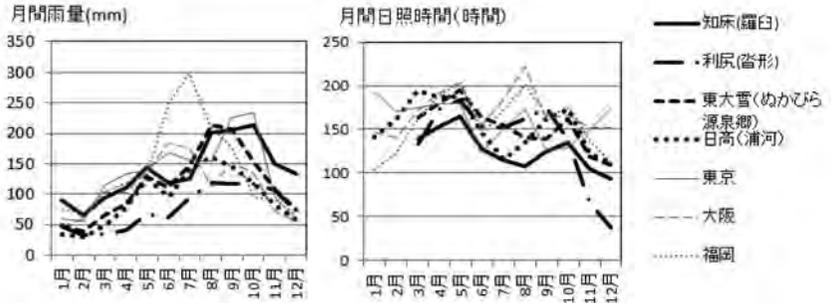


日間の籠城となった。実は北海道の夏は平均的に晴れが少なく雨が多いのだが、今回は北海道の夏山の気象を本州以南と比較しながら考えてみたい。

北海道の夏は雨量が多い

まず、雨。図2左が北海道の月ごとの雨量の平年値だが、8月は雨量が増える。本州以南では6月は梅雨、10月は秋の長雨や台風で雨量が多く8月はその間にあつて雨量が相対的に少ない月なのだ。北海道はそれとは逆だ。それ

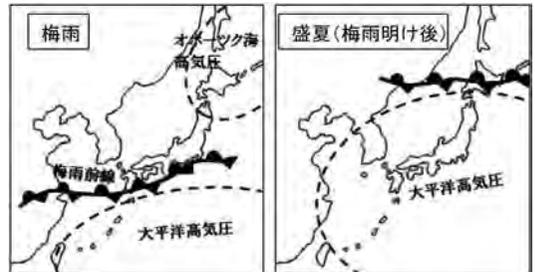
図2：北海道の山岳近傍アメダスの雨量（左）と日照時間（右）の平年値



は日照時間の短さにも現れる（図2右）。東京や大阪、福岡は梅雨が明けると日照時間が増えるが、北海道は7月、8月と減っていく。つまり北海道の夏は傾向として、曇りや雨の日が多く晴れている時間が少ない。それは何故だろう。図3に模式的に示したが本州以南

図3：夏の天気メカニズムの模式図

梅雨期には本州から九州にかけて梅雨前線が停滞する。梅雨が明けると太平洋高気圧の勢力が北上し、本州以南は日照時間が増える。北海道は太平洋高気圧の端にあたり、前線が停滞することが多い。太平洋高気圧が強い時は北海道も勢力下に入る。弱い時は前線が本州中部に南下することもある。



は梅雨が明けると太平洋高気圧の勢力下に入るが、北海道はその勢力が及ぶか微妙なところ。太平洋高気圧の北には冷涼な空気があるので境目に前線がでやすく、さらに低気圧も通るが北海道はその前線や低気圧の影響を受けることが多い。太平洋高気圧に覆われる

表4：上空の気温の平年値

		900hPa	850hPa	800hPa	700hPa
		約1000m	約1500m	約2000m	約3000m
札幌	6月	11.9	10.0	7.6	—
輪島	6月	15.2	12.8	10.2	4.6
つくば(館野)	6月	15.3	13.3	10.9	5.3
札幌	7月	15.8	13.9	11.7	—
輪島	7月	19.0	16.6	14.1	8.6
つくば(館野)	7月	19.5	17.6	15.1	9.1
札幌	8月	16.3	14.3	12.1	—
輪島	8月	20.0	17.5	15.0	9.4
つくば(館野)	8月	20.1	18.0	15.6	9.9
札幌	9月	12.0	9.6	7.3	—
輪島	9月	15.9	13.4	10.9	5.9
つくば(館野)	9月	16.8	14.6	12.4	7.5
札幌	10月	5.5	2.7	0.3	—
輪島	10月	10.0	7.3	5.1	0.3
つくば(館野)	10月	11.6	9.3	7.3	2.8

図5：十勝一大雪山縦走中の札幌上空約2000mの気温(1996年8月3日～8日)
1日2回(9時、21時)の観測値をプロットしたが、5日の昼頃は気温がさらに低かった可能性がある

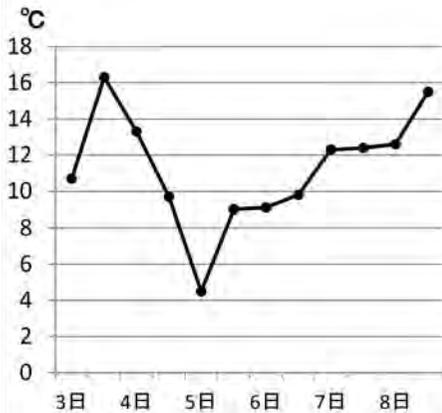
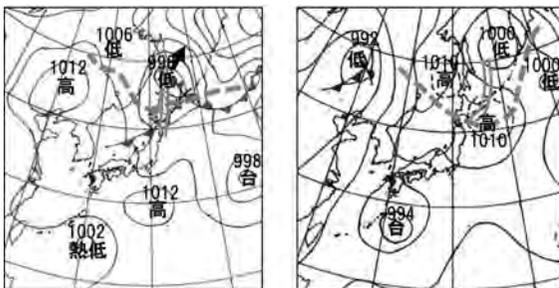


図6：十勝岳大雪山縦走時の天気図(左：縦走初日1996年8月4日、右：3日目8月6日)
(薄点線は上空の寒気(高度約5700mの-9°Cの等温線)、薄二重線は上空の気圧の谷)
6日は高気圧が移動してきたが上空の気圧の谷と寒気が残り、山は小雨模様が続いた。



本州以南とは気象のメカニズムが違うのだ。
0°C近くまで気温が下がる
こともある北海道の夏山
次いで気温を見てみよう。表4に札幌、輪島(能登半島)、館野(関東)の上空の気温の平年値を表にしてみた。よく「北海道の2000mの気温は本州の3000mに匹敵する」と言われるが、平均的にはそこまで低いことはなさそう。しかし、北海道は雨や曇の日が多く日差しのないことが多い、

そういう日は体感温度が低くなることを考えておくべきだ。
実は私は富良野岳から十勝岳、トムラウシ、大雪山まで4泊5日の縦走をしたことがあるが、最初の3日半は雨や霧で風もあり寒かった。セーターと雨具を着込んでも寒かった記憶があるが、外国の大柄な登山者が短パンで毛脛に霜を付けて平気で歩いていたので思い出す。札幌上空の高層観測データを調べてみると(図5)、気温は4°Cくらいに下がっており、山では0°Cに近かった可能性もある。それにしても欧米人は寒

さに強いものだったと思うが、本州人の猛暑に慣れた体には低温は厳しく、体力を消耗するものだ。図6が縦走中の天気図だ。縦走初日と3日目の天気図を掲げたが、初日は北海道付近に低気圧と前線があつて本降りの雨となつたが、低気圧は北東進しており北海道から遠ざかるため天気好転を期待していた。事実3日目には低気圧はカムチャツカ付近に離れ北海道には高気圧が来ていたが、期待は外れ山は小雨模様だった。実はこのとき上空の寒気や上空の低気圧が北海道付近に残っており山では天気

が好転しなかったようなのだが、このように低気圧が通り過ぎてても天気回復しないケースは夏の北海道の山では案外多いように思われる。北海道の山では天気図や天気予報を過信せず、現地現場現実の天気を基に判断することがより大事と私は考えている。北海道の夏の天気の仕組みが本州以南と異なることも合わせ、北海道の山の天気の手ごわさを認識したい。
私は北海道の山の経験も少なく、地元の方や経験豊富な方にはご意見もあろうと思う。ご教示やご指摘が頂ければ幸いです。



○ 労山基金運営委員会

新潟県連安全登山教室の開催

昨年、「労山基金担当者説明会」を北信越の長野県・新潟県合同で開催しようとしたが、長野県連単独で実施した。そういう経緯もあって新潟県連理事長より「県連安全登山教室」のカリキュラムとして労山基金の説明をお願いしたいと連絡があったので、快諾して小池事務局長と今野委員が説明に行ってきた。

6月11日(土) 午後1時から長岡市の「さいわいプラザ」で開催された。内容は一般会員向け労山基金三つ折りリーフを教材として、基金交付の実例、労山基金の改定内容について説明した。

新潟県連の特長は、会員組織数が249名に対して基金の加入者が247名なのでほぼ全員加入しているといつてよい。また、今回の基金説明会にも全部の15会・クラブから25名が参加している県連である。見事な統制力のとれた組織である。新潟県連の2021年事故者は2名(249名中)、0.8%と少なく、県連内からの交付

申請は皆無だったと記憶している。

参加者からの興味ある質問は「何口の加入で幾らの交付金が支払われるか」であった。5口加入の場合で救助搜索費用や入院額を具体的に提示したほか、3人パーティでその内一人が未加入の事例についても説明した。また「救助搜索費用、出動した場合の日当について」無雪期の日当と積雪期の日当の違いや救助の支払い対象となるモノなどを説明した。全般的に実利的な内容の質問が多かった。

(今野善伸/労山基金運営委員)

○ ハイキング委員会

「ハイキングABC」の

改定作業頑張っている!

道央連盟の広域ハイキング委員より、活動内容のご報告。今年の課題は山筋GOGO体操の推進活動、秋の全国ハイキング交流集会などがあるが、今特に急務なのが、「ハイキングABC」の第5版改訂版の発行である。これを7月発行に間に合わせるために皆頑張っ

ている。特に新しく加わる内容として、登山中でのスマホ活用方法を大きく取り上げて改訂しようとしている点である。GPS機能の活用、天気の確認、写真の撮影などでどんなアプリが活用できるのか。さらに予備バッテリーを持つ

等々。スマホで現在地がわかり、しかもログが取れる。これは第4版には無かった画期的な改定内容だと思う。この改定作業を通じて私自身も情報共有ができ、また新たに実践してみようかな?と思ったりする事も多々ある。第5版が一日も早く全国の仲間へ届き、有効活用され、且つ安全登山に繋がればいいなと思っている。

(佐藤美知弥/全国ハイキング委員)

○ 自然保護委員会

ライチヨウ目撃情報活動を

自然保護憲章実践の中心に

労山自然保護憲章は2006年2月に生まれた。私としては第1章と第2章は大感動ものだ。第1章は山の自然の変化を登山しない人々に知らせる活動。第2章はローインパクト登山に努め山を守

る活動。昔、自然保護官と懇談の後、労山の自然保護活動は？との問いかけに第1章と第2章をさらに紹介すると保護官から妙に気に入られた。

第1章の代表的活動がライチョウ目撃情報活動と感ずる。去年より環境省ホームページ「いきものログ」欄に労山会員の皆さんから寄せられた情報を投稿している。投稿者名…日本勤労者山岳連盟 自然保護委員会 sawaとした。現在、投稿数144件中、労山の投稿は42件と他を圧倒している。山岳団体自然環境連絡会で他の会に「いきものログ」投稿を呼びかけている。粘り強く呼び掛けるとそのうち効果が出ることを期待する。

何年前の自然保護集会で参加者にライチョウ目撃を問うとほとんどの方が目撃していた。しかし、労山に情報提供したか尋ねると誰一人してなかった。

労山会員の皆さん、一度「いきものログ」をのぞき、情報活動に参加してください。地味ですが立派な自然保護憲章第1章の実践で

す。

(澤村秋則／自然保護委員長)

○遭難対策部

現在まで五名の死亡事故が発生

5月12日から6月1日までに届いた事故一報は21件21名。

転倒が14名(無雪期10名、積雪期1名、山スキー3名)。転落が3名(無雪期2名、登攀1名)。落石が2名(登攀1名、沢登り1名)。体勢が2名(無雪期2名)。登山形態では、無雪期14名、積雪期1名、山スキー3名、登攀2名、沢登り1名。男性11名、女性10名。所属連盟は、道央・東京・兵庫が各3名、静岡が2名、道東・青森・茨城・埼玉・千葉・神奈川・岐阜・奈良・大阪・福岡が各1名。年齢は、40代5名、50代3名、60代5名、70代8名。

事故一報からは、下山中の転倒事故が21件中16件発生。転倒事故の報告は増加の傾向で、登攀・沢登りの落石や転落事故を省くとはぼ下山中に発生。注意すべきは下山中の足元であるが、注意しても足腰の衰えにより、滑る・躓くな

どバランスを崩す事が多くなっている。パーティでは、お互いに注意を促し下山口まで気を抜かない対応が必要だ。

今年も暑い日が続き熱中症が心配される。夏の山登りは高温多湿環境での行動が多く、上手にリスクを捉えながら山へ向かう為には、普段からの体調管理や、暑さや湿度に徐々に体を慣らすことが必要だ。ウェアについても、吸湿性や通気性のある物を着用し、帽子を被り、また首を保護する等も大切だ。登山中の行動では、早い時期に異変に気付くこと。パーティから遅れたり何でもない場所で躓く、よるける等があれば、サインのひとつとして注意してほしい。応急手当や脱水症についても事前に学習する事が大切だ。さらに、前年は8月に低体温症での死亡事故が発生している。天候の急変で長時間風雨にさらされての行動は控えよう。

(石川昌／全国遭難対策部長)

※事故一報の一覧表は次ページを参照してください。

2022年5月12日から2022年6月1日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	5.6	兵庫	56	女	モッチョム岳	無雪期	転倒	下山中、倒木の上で足を滑らせ前に転倒した。	右手首橈骨遠位端骨折
2	4.24	東京	77	女	日和田山	無雪期	転倒	下山中、雨の登山道で岩で滑って転倒した。	肋骨骨折
3	5.8	奈良	72	男	蓬菜狭	登攀	転落	ローワーダウン時、足元が見えず体のバランスを崩して着壁した。	左足アキレス腱損傷
4	4.28	静岡	52	男	富士山	山スキー	転倒	下降中、3000m付近でターンの際転倒しエッジで指を裂傷した。	左手人差し指裂傷
5	5.3	東京	49	男	久住山	無雪期	転倒	下山中、浮石を踏み外しバランスを崩して転倒した。	捻挫
6	4.30	埼玉	64	男	諏訪山	無雪期	転落	下山中、木の橋から河原に落ちて岩に手や頭をぶつけた。	手・頭打撲他
7	5.15	青森	55	女	バリカン山	無雪期	体勢	下山中、滑って左手を突いた際痛みがあった。	左手首骨折
8	5.14	道央	46	男	赤岩山	登攀	落石	クライマーの掴んだ岩が剥がれ、複数の落石が発生した。	頭部他全身の打撲
9	5.14	福岡	70	男	清水山	無雪期	体勢	下山中、前日の雨で滑りやすくなった道で手を突いた。	左手首骨折
10	5.10	静岡	73	女	宮指路岳	無雪期	転倒	下山中、登山口まで15分のところでスリップし転倒した。	左腓骨遠位端亀裂骨折
11	5.8	岐阜	74	女	美濃平家岳	無雪期	転倒	下山中、低木に足を取られ転倒した。	左腓骨遠位端骨折
12	5.11	東京	70	女	小辺路	無雪期	転倒	下山中、苔に滑って前方に転倒した。	右膝捻挫
13	5.15	道央	64	男	芦別岳	積雪期	転倒	融雪の進む沢を登っている際に、滑って前方に転倒した。	小指骨折他打撲・裂傷
14	5.15	道東	44	男	黒岳	山スキー	転倒	登行中、キックターンをした際滑って転倒した。	左肩関節脱臼
15	4.23	神奈川	42	男	女郎小屋沢	沢登り	落石	落石を手の甲に受けて負傷した。	環指中指開放骨折
16	5.5	兵庫	78	男	大峰山	無雪期	転倒	下山中、落葉に足を取られ滑って転倒し足を強打した。	右足打撲
17	5.21	兵庫	66	男	貴船山	無雪期	転倒	下山中、転倒し崖から2m転落し沢に頭から落ちた。	後頭部割創
18	5.3	大阪	61	女	釈迦ヶ岳	無雪期	転落	下山中、足を滑らせ1.5m程転落した。	頭部外傷
19	5.22	茨城	73	女	方寒山	無雪期	転倒	下山中、登山口近くで滑って転倒した。	左橈骨遠位端骨折
20	5.28	千葉	61	女	鋸山	無雪期	転倒	下山中、雨でぬかるんでいる土に滑って転倒し足首を捻った。	右足首靭帯損傷
21	5.5	道央	48	女	羊蹄山	山スキー	転倒	下降中、転倒して右膝を捻った。	前十字靭帯他損傷

事故一報の受領順で掲載

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	4	1	3	3	0	0	11
女性	0	0	1	2	2	5	0	0	10
合計	0	0	5	3	5	8	0	0	21

	無雪期	積雪期	山スキー	沢登り	登攀	氷瀑	人工壁	訓練	合計
男性	5	1	2	1	2	0	0	0	11
女性	9	0	1	0	0	0	0	0	10
合計	14	1	3	1	2	0	0	0	21

	墜落	転落	滑落	転倒	体勢	凍傷	落石	その他	合計
男性	0	2	0	6	1	0	2	0	11
女性	0	1	0	8	1	0	0	0	10
合計	0	3	0	14	2	0	2	0	21

	骨折	脱臼	断裂	捻挫	裂傷	打撲	損傷	その他	合計
男性	3	1	0	1	2	3	1	0	11
女性	6	0	0	1	1	0	2	0	10
合計	9	1	0	2	3	3	3	0	21

- 1日 遭難対策部会
- 7日 山岳四団体、第2回コンパス専門部会
- 同日 自然保護委員会
- 9日 組織部会・全国登山研究集会
第1回実行委員会
- 12日 兵庫県勤労者山岳連盟第59回定期総会（神戸市教育会館）小池事務局長が来賓として出席。
- 16日 登山時報編集委員会
- 20日 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 21日 三役会議
- 22日 ハイキング委員会
- 25日 第4回拡大理事會
- 25～26日 全国雪崩講習会（レスキュー専科）
- 28日 労山基金運営委員会

第4回理事会、討議事項

①全国登山研究集会について

実施要項を作成し地方連盟に告知する。記念講演は三俣山荘支配人の伊藤圭氏（故伊藤正一名誉会員の長男）。理事長の基調報告を行う。分科会について内容を確認しレポートを募集する。

②来年度の機関誌・紙について

毎月発行の機関紙はA4サイズ8ページで基本はメール配信と

ホームページへの掲載。要望があれば紙媒体で郵送する。機関誌は季刊発行で年4回。第3種を維持し有料にて紙媒体で希望する会員に郵送する。



伊那山仲間事務所で開催された長野県連の救急法講習会



3年ぶりに行われた都連盟救助隊のミツ峠クリーンハイク

ふふハハ

No.184 村松 孝一



FROM EDITOR

異常気象が全世界で起こっている。日本では異常に短い「梅雨」、6月中の異常高温。ここ長野でも連日30度を超える日々となっている。朝晩が涼しく、まだ我慢できる範囲だが、7月から待ちに待ったソフトが開始される。ナイターでも暑いだろうな? (塩田)

主観と客観、これほど難しいことはない。自分では正しい、そこまでいかななくても間違っていない、と思っていても多くの人から見たらおかしい。しかし、客観も主観の塊と見たら捨てたものでもない。現在、ハイキングABC改定作業中だが、メンバーの主観のぶつかり合いである。(田上)

6.23 沖縄慰霊の日、摩文仁の「平和の礎」前から「命どう宝」(ぬちどうたから)と全世界に呼びかけた県知事の挨拶に続き、小学2年生の詩の朗読が心に響いた。肌の感覚の「へいわ」を「ずっとポケットにいれてもっておく/ぜったいおとさないように/なくさないように/わすれないように」。(鈴木)

登山時報

©禁無断転載

8月号 No.570 2022年7月15日発行

編集長 今野善伸

副編集長 橋口晴彦

編集 酒井正裕、田上千俊、濱崎優子 (進行)

校正 塩田善次郎、鈴木幹雄

DTP・デザイン 来住真太

発行人 川嶋高志

編集人 今野善伸

発行 日本勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp

印刷 有限会社 カウス



Yagisawa Masamichi



八木澤昌通さん

1954 (昭和 29) 年 12 月栃木県今市市 (現日光市) 生。家族は妻と義母。20 歳より東京の木場に 10 年間勤める。このとき身体の骨格が形作られたと思う。その後会計事務所に 30 数年勤務し 61 歳で退職。

労山へは、1996 年 4 月宇都宮ハイキングクラブ (以下 UHC) に入会。UHC 内では 1998 年より運営委員、研修部部长 (現任) および会長に任せられる。1999 年より栃木県勤労者山岳連盟 (以下栃木労山) 理事。その後事務局長および理事長 (現任)。

大型ハイキングクラブの教育研修担当を 25 年

栃木県連理事長を兼任で、今年 2 月から全国理事に

■登山を始めたきっかけ

中学 2 年生のとき、20 歳上の叔父と 3 歳上の兄との 3 人で、自宅から霧降高原近くの大山へ登り、六方沢を下り、小休戸を経て自宅へと 8〜9 時間ほど歩いた。このとき、いざれ山歩きをしたいと思った。後年、兄とこの話をしたとき、彼は「絶対に山歩きなどしない」と思ったそうだ。

■山の経歴と印象深い山

39 歳の時、後に入会することとなる UHC の「栃木の山 100」を見ながら、単独で歩きはじめた。道に迷ったり、残雪期の山に入ろうとしたりと、危険な状況に遭遇し、限界を覚り、入会した。

入会して数年後であるが、UHC への入会希望者を連れて、標高差 350 m ほどの山を歩い

たとき、ある登山未経験者が、「わたし、初めて山に登れました」と喜んでくれたことが、その後の会活動をするうえで、大きな支えとなっている。

このほかに、栃木労山に所属する南那須山楽会の先輩と出会い、同行した 10 月のバットレスと、翌年 GW の北鎌尾根が印象深い。その後、無雪期にこの尾根をリーダーとして 7 回歩いた。

山行のスタイルは、無雪期縦走はもちろんであるが、このほか残雪期の山、岩、沢、テント泊など、それぞれ入門的なレベルを、幅広く楽しんでいる。「おいしいところをチョットずつ」というスタイルである。

■今まで取り組んできたこと

UHC 研修部部长として、会員の講習や研修に携わってきた。また、栃木労山事務局長および

理事長として、組織運営に携わってきた。

■今後、取り組んでいきたいこと

コトラのマーケティング・コンセプトというテキストの序文中に「マーケティング・マネジメントとは、標的市場を選択し、優れた顧客価値の創造、伝達、提供を通じて、顧客を獲得、維持、育成する技術である」とある。このような考え方を、組織運営に生かせるかもしれないと考えている。

■その他

地元にある男体山には登りたいと思ひ、登った。そこから山が見えた。次はその山へ登った。そうしたならば、また、次の山が見えた。登山も組織運営も、目の前のことをこなして、いつの間にか過ぎてきた、という想いである。

地図読み迷人

Lesson 158

監修・村越真
宮内佐季子 小泉成行

見る方向によって変わる山の形

問題

写真①～④は、いずれも下の地図にある竜ヶ岳を撮影したものです。それぞれ、どちらの方角から撮影されたものを八方位（北・北東・東・南東・南・南西・西・北西）で教えてください。



私たちが山の形を思い浮かべるとき、いちばん見る機会が多い形を思い浮かべているように思う。普段見ている山を別の方向から見るときに、「えっ！こっちから見るとこんな形なの？」と感じたことのある人は多いのではないか。私の場合、竜ヶ岳というと、自宅周辺から見える形に近い④と、本栖湖で遊んでいるときに見る①の印象が強い。②や③を見ると、ちよつと違うところに来たな、と感じる。

解説

ここでは答えを導き出す簡単な方法を紹介するが、これ以外にも方法はたくさんある。余裕があれば、他にも根拠を見つけてみよう。まずは等高線から竜ヶ岳の特徴を読み取っておこう。上部では北東―南西に細長く、山頂付近では傾斜が緩やかである。北側の斜面は特別大きな尾根・谷はない。東、南、南西に大きな目立つ尾根がある（地図に薄い赤線を引いた）。

いちばんわかりやすいのは①だろう。手前に湖面が写っていて、竜ヶ岳の左右の湖岸に平らなところが写っている（a、b）ことから、写真の尾根と地図の尾根を対応させることができる。まん中の谷（c）が写真でほぼ上下方向に

写っていることから、この谷のほぼ正面、すなわち北から撮ったことが分かる。

②は山頂が③や④ほど横長に見えていないことから、東へ北東か西へ南西から撮ったと考えられる。

さらに、奥側が左、手前側が右と少しはすかいらいになっているので、東か西に絞って良

い。竜ヶ岳の左側の中腹辺りから突然、同じぐらいの高さのピークが連なる尾根がはり出している（d）が、これに該当する尾根は北側にはないため、西から撮ったものではない。東側から撮ったと考えると矛盾しない。

④にも竜ヶ岳の中腹から突然張り出た同じぐらいの高さのピークが連なる尾根が写っている（f）。これが地図上のeで、この写真では右方

向いのびるように写っているので、南へ南西から撮影したものと分かる。④は山頂の形が左右にとても長いので、南西から撮ったものではなく、南から撮影したものと分かる。

③は山の形が横長で、斜面の凹凸が大きいことを考え合わせると、

主に南東側の斜面が見えている。右の方、ピークから1段下がったところに広い平らな場所があるのがg。そうすると、eの尾根がhであると分かり、それが手前に向つてのびて来ているので、尾根eの向いている方向、すなわち南東から撮影していると分かる。



低山から高みまで活発な山行と 多彩な活動を繰り広げる

労山をつなぐ
ネットワーク
山の仲間を結ぶ
会・クラブ紹介 37



50周年記念行事 狩野川分水嶺を歩く 達磨山にて (2021年12月)



富士山大量遭難の慰霊登山 (2022年3月20日)

域に根差した活動を続けている。1980年の冬山合宿、鹿島槍ヶ岳で作られた「三島労山の歌」という会歌もある。現在会員数は43名、平均年齢は59歳である。これまでの主な活動を紹介すると、「ふれ愛ハイイク」は車椅子を押ししたり、手を取り合って健常者と障害者が山や尾根歩きを楽しんだ。「公開バスハイイク」も盛んに行われたがオーバークラスを憂慮、「夏山登山学校」「三島登山塾」など一般向けに開催したが、山岳会が増えてその役割も薄れたことやレジャーの多様化により、今では会活動から

三島労山つてどんな会
1972年3月、戦後最大の富士山での大量遭難事故が発生した。(注)三島労山創立に尽力した仲間の死を乗り越えて、静岡県東部に初めて労山が1973年に誕生した。以来50年間、地元静岡東部や県連と連携しながら安全登山講習会、クライミング講習、遭難対策訓練など地



ちびっ子冒険 伊豆山稜線 (2016年8月)

三島勤労者山岳会

静岡県勤労者山岳連盟



冬期遭対訓練 富士山 ビーコン (2013年3月)



ジャンダルム 新人強化山行 (2011年7月)



愛鷹鋸岳訓練山行 (2011年9月)

消えていった。

唯一続いているのが「ちびっ子冒険学校」だが、コロナ禍で中止を余儀なくされている。

ほかに富士山の事故を踏まえて「遭難対策訓練」を富士山周りで毎年実施、今年も3月に実施した。

例会は月に第2・第4木曜の2回、地区の公民館で行っている。会事務所での総会も含め、コロナを機に「Teams」を活用してオンラインでも参加できるようにしている。

会員数に対して参加人数は10〜15人と少ないが、山行報告、

机上講習などを行って有意義に活用している。

安全登山講習会の充実

机上講習は、(1)登山計画書の立て方(インターネットの専用ページから会への送付方法)

(2)ブログ更新の方法、(3)各会山行前の技術講習【夏山、雪山全般(装備、雪上訓練、冬山装備、冬山遭対訓練ほか)、地図読み(地形図の読み方、GPSの活用、印刷方法)、夏山遭対講習と訓練、沢登り、クライミング技術】などを行い、登山の

基礎を学ぶとともに自己研鑽に励んでいる。また講習内容に結びつけて会山行を計画し実践している。

創立50周年を迎えて

今年は50周年の節目、しかしコロナ禍もあり記念行事の多くを中止した。現在「狩野川分水嶺を歩く」をメインに19プロックに分けて歩いている。会員の高齢化対策をテーマに東部地区ではいち早くHP、ブログを立ち上げ、若手の会員増加に繋げたい。一気に10歳ほど平均年齢が

下がった事があり、新人強化山行を地元愛鷹の鋸岳で実施した。定着率を高めるための課題も多く抱えている。

会全体としては主に個人山行がメインであり、各会員が仲間を募ったり、ソロ山行を行ったりと活発に活動している。仲間を探しに山岳会に入られた方には、企画部、遭難対策部から働きかけて会員のつながりを積極的に作れるように活動している。会員の多くはHPやブログを見て入ってこられる方がほとんどであり、山を始めたいという方から、冬山や岩をやりたいという方まで、皆さんモチベーションが高い傾向にある。既存会員がまず山を楽しんでいるところを感じていただき、これまでの経験とこれからの目標を共有して、会全体で登山という文化を感じて楽しんでいけるように積み重ねていきたいと思う。

(高良周作 / 三島勤労者山岳会会長)

丹沢主脈縦走路にある不遇の山

一度聞いたら
忘れられない山、
黍殻山 1272m

田上千俊 HC WildBerry / 東京



黍殻山に向かう登山口。姫次・焼山の表示しかなく、黍殻山の表示はない



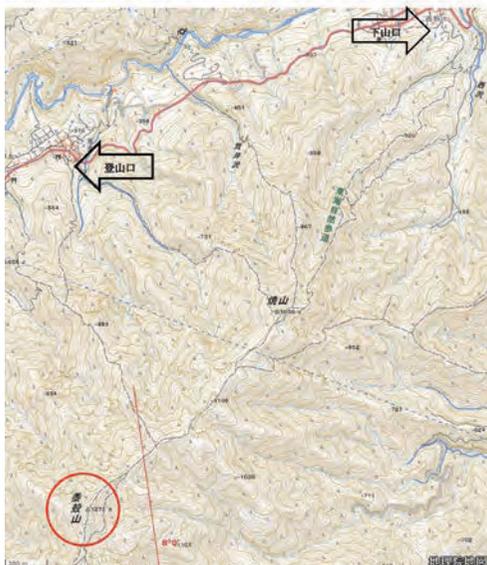
主脈稜線上の黍殻山。右手が塔ノ岳方面、左手が焼山方面

丹沢主脈と言えは塔ノ岳（1490m）・丹沢山（1567m）・蛭ヶ岳（1672m）でそのあとはほとんど知られていない。丹沢北面・相模原市緑区に多くの登山者は下山するが、その長い蛭ヶ岳から4時間半の下山路の途中に突き出しているピークが黍殻山だ。今回は車利用での日帰りコースを紹介する。

中央自動車道・相模湖ICを出て甲州街道・412号線から三ヶ木へ。さらに413号線へ入り道志方面へ向かう。30分ほど走ると青根部落に入り、平丸バス停を少し過ぎた左手の旧道に登山口の古い標識がある。車は前後の旧道に駐車できる。登り始めは暗い沢沿いの道で気分がのらないが、30分ほど我慢すると尾根に出る。尾根に出ると樹林の間から右手に富士山も見えてくる。ジグザグのやや急登が続き2時間ほどで主脈縦走路に飛び出す。

縦走路に出ると平坦な登山道、今までの登りが嘘のように思えるほど足が進む。道の両側は広葉樹

の自然林が多く、新緑の時期は素晴らしいグリーンベルト。20分ほどで山頂。山頂には金網で囲まれた無人の雨量計が設置されており、やや風情に欠ける。周りも樹木が多いので展望もあまり期待できない。しかし3時間近くかけて登った感動は他の山と同じだ。さて下山は車1台ならピストンだが、車2台なら主脈縦走路を焼山（1059m）経由で下山できる。焼山登山口に諏訪神社があり、その境内に駐車できる。（地元で確認済み）焼山まではやや平坦な道だが、それ以降は急な下りが多いので疲れもたまり要注意である。しかし右手に宮ヶ瀬湖や仏果山（747m）、左手には大室山（1587m）などが望みでき、主脈縦走路の醍醐味を味わえる。



- ⌚ ピストンなら5時間・焼山経由なら6時間
- 🌞 5～10月はヒルが出るので要注意
- 🚌 バスは1日数本しかなく、土日連休もあるので車がベター
- ♨️ 平丸バス停から10分のところに「緑の休暇村・いやしの湯」あり 750円 042-787-2288

⌚ 参考タイム 🌞 登山時期 🚌 交通 ♨️ 温泉

vol.115

筑井孝子の人物物を描こう



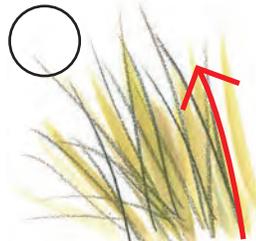
線の進む向きを考えよう

「草や木の枝を描くとき注意をしないといけないことがあります。どうしても中に向かって描くことがおおく、外に力をいれるのは日常の文字を書くのにない行動なので、みんな反対に描いてしまうことが多いです。

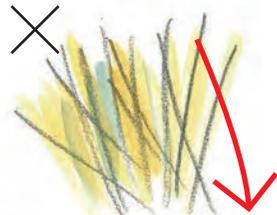
「草は下から」「枝は幹から」力を抜いて描くといい表現になります。「元」は「どこだろう」と気にして描いてみてください



尾瀬 ヒツジグサ



下から描く



上から描く

あらかると

盛夏の花

石井光造



山の夏も真っ盛りと思わせる花の一つはレンゲシヨウマ（蓮華升麻）である。この花との最初の出会いは、まだ道のなかった太刀岡山であった。汗びっしょりで暗い林にぽうつと浮かびあがった半透明の白い花。調べると蓮の花を逆さに咲かせ、葉は升麻のようなのでこの名になったとのこと。一属一種の日本固有種で、蕾も球体で独特の風情がある。

林の暗さで見たせいか、森と草原の境の明るさに半透明の花が揺れている夏の盛りが、山の楽しさ、ゆつたりさ、を感じて寝転びたくなってしまう（右写真）。

レンゲシヨウマは日本だけの花だが、海外の山でも何回も見たのが、ヤナギランである。夏の半ばから秋まで花期が長く、浅間隠山頂上、安比高原奥の牧場など記憶に残る山は多い。イギリスではレイルフラワーといわれ、線路脇何力所かで見た（左写真）。英語ではウィロウ（柳）ハーブという。日本より緯度が高く平地でも咲いている。スウェーデンの八月にも見た覚えがある。



職場の同僚と贅沢に車（私はこのとき代車でした！）を2台つかってミニ縦走。1305mの山頂まで1時間程で登れるうえ、この日はツツジと360度の展望が待っててくれました。

Yama no 山の自由帳

第8回

篠塚優 カモシカスポーツ山の店・松本店

メリノスポーツ 120 シリーズ



その後、無事に車が納車されたので、こわごわ（笑）運転して美ヶ原を走りに行きました。美ヶ原（王ヶ頭）は標高2034m。登山口（三城牧場）で既に1400mを超え、丹沢や高尾で走っていた感覚で行くと確実に寒い思いをするだろう、と考え、パタゴニアのキャプリーンライトウエイトロングスリーブを、その下にはファイントラックのドライレイヤーベシックタンク

にご挨拶したいと思い、職場の皆に話を聞いて霧訪山へ行くことにしました。北アルプスに登るよりも家から近い里山に登ったことで「ここに住んでるんだな」とようやく実感できました。

松本に来て早3週間がたとうとしています。新しい生活は待たなして進んでいます。心も体もバタバタです。そんな中、ふと「日常を取り戻すために山へ行こう」と思いついて、半日のハイキングにとりあえず出掛けることにしました。最初は住む町を眺められる里山

美ヶ原高原



運転が大変でないところ！と教えてもらった三城牧場から茶臼山、王ヶ頭と回りました。高原は初めてでしたが、日本離れた美しさにうっとり。家から1時間程でこの登山口につくなんて贅沢すぎてバチが当たりそう…。

私は夏場のウェアは今回のように基本的に速乾性の高い化繊派なのですが、先日、スタッフ間で化繊か、ウールか、の話題ががりました。ちなみに私はこの仕事にこれまでウールを夏に着るイメージはまったくなかったです。それぞれ良いところイマイチなところはありますが、汗かきさん（特に男性！）は化繊だと臭いが嫌だ…という意見が結構あり、ウールの防臭能力は実体験としてかなり高そうです。

トップをチョイス。結果、動き続けたので服装は概ね快適、朝が早かったこともあり、まだ薄手のグローブがあってもいいかなという気温でした。

トップをチョイス。結果、動き続けたので服装は概ね快適、朝が早かったこともあり、まだ薄手のグローブがあってもいいかなという気温でした。

SMARTWOOLの NEW シリーズ



メリノスポーツ 120
ロングスリーブ
¥7,920 (税込)



メリノスポーツ 120
ネックゲイター
¥3,080 (税込)

タンクトップ、半袖、長袖、ネックゲイター、ヘッドバンドと様々なアイテムがあります。

【テンセルとは】

植物由来の繊維で製造過程での環境負荷が比較的低いことと微生物に分解されるため『エコ素材』と言われています。

しなやかさと少しのひんやり感が特徴的。ウールと同じく摩耗に弱いので、お洗濯の時はネットに入れましょう。

ウールといえば、今年スマートウールからメリノスポーツ120という超薄手のテンセル混のウール生地を使った商品が発売されました。生地の薄さから考えると耐久性はあまり期待できませんが、柔らかい着心地や少しのひんやり感は夏の暑い時期に快適そうです（耐久性を求めるならメリノ150シリーズがオススメです）。この夏、何日かけて縦走を考えている方はウェアにウール、という選択肢もぜひ。



大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ
出来る品揃えと接客サービスで
安全快適な山行をサポート。

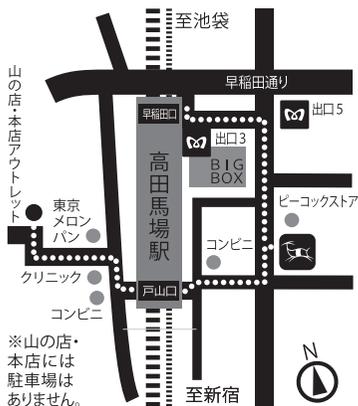


カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン! / こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

山の店・本店

JR高田馬場駅から徒歩3分



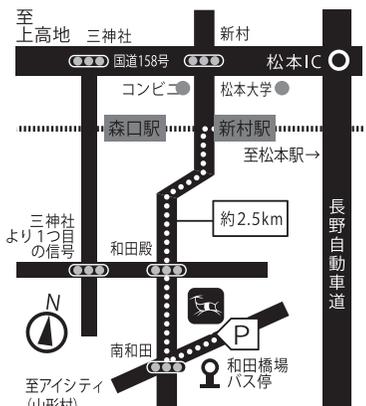
山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店 カモシカスポーツ

本店・横浜店 OPEN 11:00 CLOSE 19:30(月~金)/19:00(土日祝) 松本店 OPEN 10:30 CLOSE 19:00

- 山の店・本店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウイスポーツビル1F
- 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

日本勤労者山岳連盟の出版物

ハイキング A・B・C 第5版準備中



1991年の初版発行以来、全国で長年にわたり愛用されてきた初心者向けテキストが、新しい時代に合わせた改訂版(第5版)を準備中。主な改訂点は「登山・ハイキングにスマホをどう活用するか」。他にもネットを使った地図や気象情報の取得など新しい内容を盛り込みます。8月中発行見込み。

B5判 一部 300円

労山会員、加盟団体は送料無料。
30部以上まとめのご注文は、1部につき250円

ハイキング セカンド・ステップ 第4版

—ハイキングリーダー養成のためのテキスト—

1998年に初版が発行された、全国ハイキング委員会によるリーダー養成のためのテキスト。2018年8月に内容を大きく刷新して新版を発行しました。ぜひ、ご活用ください!



B5判・74P 一部 400円

労山会員、加盟団体は送料無料。
30部以上まとめのご注文は、1部につき250円

★改訂第2版 使いやすいブックレット判
山筋ゴーゴー体操 監修 / 石田良恵
—生涯登山をめざして—

初版発行以来大好評!!
<よりわかりやすい内容>
にした2019年1月改訂版。

- ① なぜか多い50代以降の事故
- ② 年齢と筋力の関係を知ろう
- ③ 登山に必要な筋を鍛える
- ④ 体力年齢は何歳?
- ⑤ 山筋ゴーゴー体操 (筋トレ編)
- ⑥ 山筋ゴーゴー体操 (ストレッチ編)
- ⑦ 山筋ノートを付ける



A5判・47P 一部 200円

送料別途。20部以上まとめのご注文は、送料無料。

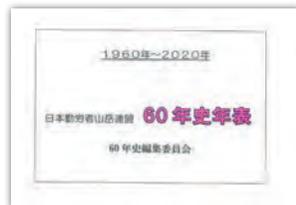
記念誌と年表

労山の60年／年表

— 労山60年の歩みがわかる —



労山の60年
A4判・120P
一部 500円 (送料込)



年表
A4判・74P
一部 200円 (送料込)

※両方セットで購入の場合、
1セット 600円 (送料込)

お申し込み

全国連盟事務局に FAX またはメールで書名、部数、団体名、送付先を明記のうえ、下記へお申し込みください。代金振替用紙を同封して発送します。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp